

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校

学校番号

8

## I 自己評価

1 学校教育目標	確かな学力、豊かな人間性、健やかな心身を育み、一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる人材を育成します。		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
	・主体的に多様な人と協働して学び、生きて働く知識・技能を身に付け、課題を発見し解決に取り組む生徒 ・心身の錬磨を図り、個性を尊重し、奉仕の精神を養い、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・社会の変化に柔軟に対応し、地域や社会の課題に取り組み、地域社会の発展に貢献できる生徒	・生徒一人一人がキャリアデザインを具体的に描き、自己実現が図れるよう、各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性を深化させるとともに、キャリア教育を推進 ・「主体的・対話的で深い学び」を推進し、知識・技能を習得させ、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を育成 ・基本的な生活習慣の確立と自他の生命を尊重する態度を育て、生徒一人一人の個性を伸ばし、深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の編成と個に応じた指導の実施	・基本的な生活習慣が身に付いており、向学心を持ち、学校行事、生徒会活動、部活動などの活動に積極的に参加し、多様な人と協働して学ぶことができる生徒 ・進路実現に向かって継続的に努力し、多様な学びや資格・検定、コンクールに主体的に取り組む、自らの可能性を拓く意欲のある生徒 ・部活動でスポーツ活動または文化活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲ある生徒

3 評価する領域・分野	◇特別活動部		
4 現状の分析	○生徒会において生徒主体で活動している。 ▲部活動への積極的参加		
5 学校の抱える課題	◇部活動への強制力が無くなり、部活動の重要性をいかに生徒に伝えていくかを考えていく。 ◇学校行事が多く、LHRの時間の確保。行事の精選。		
6 今年度の具体的かつ明確な重点目標	・生徒会活動の活発化 ・部活動への積極的参加と活性化 ・各行事の内容・実施方法の検討		
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 部活動への参加意欲を喚起し、学校全体に活気を生む。 (2) ホームルーム活動等で、クラスの協調性を養う。 (3) 学校行事を通じて、生徒が充実感・達成感を得られる機会を作る。	(1) 部活動の充実 (2) クラスごとの具体的な取り組みの明確化 (3) 学校行事の充実		
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
・部活動の活性化 部活動デーの確保・大会結果の報告活動 ・ホームルーム活動の活性化 各種行事への積極的参加・クラスでの協力 ・学校行事の活性化 行事への積極的参加、行事の企画・工夫	① 参加状況・大会結果 ② クラスでの目標達成 ③ 取り組み状況	A (B) C D A (B) C D (A) B C D	
12 成果課題	○文化祭(紫翠祭)では、3年生は動画発表、2年生がクラス展示、1年生が階段アート、各クラスでクラス旗、カーテンアート作成と多くの生徒が関わることができた。 ・○生徒会役員を2名増員し(会計監査2名)各行事で生徒会役員がリーダーシップを発揮した。 ▲部活動の活性化をより呼びかけていきたい。		
13 来年度に向けての改善方策案	◇紫翠祭・球技大会など、各行事とも状況に応じた実施方法・内容を考えていく。 ◇生徒会の活動を更に充実させていく。 ◇部活動を積極的に推進していく。働き方改革による部活動の在り方を踏まえつつ、校外、校内、保護者に積極的に発信していき、部活動の重要性への理解を深めていく。		

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和6年2月5日

【意見・要望・評価等】 ・文化祭などの行事においても、身なりやマナーに気をつけて、服装など気をつけれるとよい。
--